1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 採用者数と退職者数について

H21.4.1現在職員数	H21年度 退職者等	派遣等に よる異動	H21年度 中途採用者	H22.4.1 新規採用者	H22.4.1現在職員数
224名	△ 15名	1名	1名	0名	211名

(2) 部門別職員数の状況と主な増減理由(各年4月1日現在)

	戦員数の状況と主な増減理 区 分	職員数	文(人)	対前年	主な増減理由
部門		H21年	H22年	増減数	T 2. U.V. T.
	議会	5	5	0	
	総務•企画	51	50	$\triangle 1$	欠員不補充
	税務	14	13	\triangle 1	11
_	民 生	28	25	△ 3	11
般 行	衛 生	17	16	\triangle 1	II
般行政部門	労 働	0	0	0	
門	農林水産	33	32	\triangle 1	II
	商工	5	4	$\triangle 1$	<i>II</i>
	土 木	24	22	\triangle 2	<i>II</i>
	小計	177	167	△ 10	
政特 部別	教 (注)	22	20	△ 2	欠員不補充
門行	小 計	22	20	\triangle 2	
//	病院	0	0	0	
会営計	水 道	11	10	\triangle 1	欠員不補充
会計部門公営企業等	その他	14	14	0	
4	小計	25	24	△ 1	
(沙) 松 玄目	合 計	224	211	△ 13	

(注) 教育長を含んだ数字です。

2 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況(総務省地方財政状況調査より)

A A A A A A A A A A A A A A A A A A A							
区分	住民基本 台帳人口 (22年3月末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考)20年度 の人件費率	
21年度	人	千円	千円	千円	%		
21十/文	23,887	10,396,828	272,612	1,986,204	19.1	22.1	

(注)人件費には退職手当負担金,特別職給与,議員・各種委員・嘱託員等に支給される報酬,共済組合負担金等が含まれます。

(2) 職員給与の状況(一般会計当初予算)

		3 21 /				
区公	職員数		給	〕 費		一人当たり給与費
区 万	A	給 料	職員手当	期末·勤勉手当	計 B	B/A
22年度	人	千円	千円	千円	千円	千円
22十尺	195	788,377	87,000	307,076		6,064

- (注)1 職員手当には退職手当負担金は含みません。
 - 2 給与費は当初予算に計上された額(教育長を含む)です。

(3) ラスパイレス指数の状況(各4月1日現在)

区分	阿久根市	全国市平均	県内市平均	鹿児島県
平成21年	97.8	98.4	98.4	94.7
(参考)				
平成20年	94.9	98.3	98.3	95.1
平成16年	98.0	98.2	99.9	99.2

(注)ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

(4) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成22年4月1日現在)

(1) 1005645 1 113 1			D(D) (1 /90 1	·/ 1 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
	一般行政職		技 能 労 務 職				
平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額		
歳	円	円	歳	円	円		
44.1	337,300	368,500			_		

- (注)1「平均給料月額」とは、平成22年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
 - 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、調整手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計したものです。
 - 3 阿久根市には技能労務職員がいません。

(5) 職員の初任給の状況(平成22年4月1日現在)

		107 1770 (1 750 1	17 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	区分		阿久根市	国
			初任給	初任給
	一般行政職	大学卒	161,600円	172,200円
	一叔们以城	高校卒	140,100円	140,100円

(6) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成22年4月1日現在)

区	分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	244,900円	303,800円	
一般行政職	高校卒	_	_	_

- (注)1 金額は、各経験年数に在職する職員の平均額です。
 - 2 対象となる職員がいない場合はハイフン(一)としています。

(7) 一般行政職の級別職員数等の状況(平成22年4月1日現在)

	100000000000000000000000000000000000000							
区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
標準的な 職務内容	主事補·技師補 主事·技師	主事·技師	主任	主查•係長等	課長補佐等	課長等	指定課長	
職員数(人)	12	11	19	62	47	14	3	168
構成比(%)	7.1	6.5	11.3	36.9	28.0	8.3	1.8	100.0

(8) 職員の手当の状況

ア 期末勤勉手当

/ /91/103/102 1 .					
	阿 久 根 市			国	
	(21年度支給割合)			(21年度支給割合)	
	期末手当	勤勉手当		期末手当	勤勉手当
6月期	1.40月分	0.72月分	6月期	1.25月分	0.70月分以内
12月期	1.35月分	0.62月分	12月期	1.50月分	0.70月分以内
計	2.75月分	1.34月分	計	2.75月分	1.40月分以内
職制上の		有	職制上の		有
級等に。	にる加算措置	用	級等によ	る加算措置	用

(注)阿久根市の勤勉手当については支給実績です。(6月期に改正ができなかったため、12月期で調整しています)

イ 退職手当(平成22年4月1日現在)

阿 久 根 市			国	
		(支給率)		勧奨·定年
				30.55月分
33.50月分			33.50月分	41.34月分
47.50月分			47.50月分	59.28月分
59.28月分		最高限度額		59.28月分
		その他の		
(2%~20%加		加算措置	(2%~20%加	算)
無		退職時特別昇給	無	
	自己都合 23.50月分 33.50月分 47.50月分 59.28月分 定年前早期退職料 (2%~20%加	自己都合 勧奨·定年 23.50月分 32.76月分 33.50月分 41.34月分 47.50月分 59.28月分 59.28月分 59.28月分 定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)	自己都合 勧奨・定年 (支給率) 23.50月分 32.76月分 勤続 20年 33.50月分 41.34月分 勤続 25年 47.50月分 59.28月分 勤続 35年 59.28月分 59.28月分 最高限度額 定年前早期退職特例措置 その他の (2%~20%加算) 加算措置	自己都合 勧奨・定年 (支給率) 自己都合 23.50月分 32.76月分 勤続 20年 23.50月分 33.50月分 41.34月分 勤続 25年 33.50月分 47.50月分 59.28月分 59.28月分 最高限度額 59.28月分 定年前早期退職特例措置 その他の 定年前早期退職特 位2%~20%加算 加算措置 (2%~20%加

- (注)1 本市は平成18年度から鹿児島県市町村退職手当組合に加入しています。 (注)2 その他の加算措置については、勧奨退職者扱いのみ適用しています。

ウ 特殊勤務手当(平成22年4月1日現在)

7 13 // 12/10/1 1 -1	(1/2/20 1/1/1 1/2		
支給実績(21年度)		430千円	
支給職員1人当たり	平均支給年額(21年)	度)	17,192円
職員全体に占める事	手当支給職員の割合	(21年度)	11.1%
手当の種類(手当数	(1)		13
主な手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
徴税手当	徴税事務従事員	市税徴収	月額 1,500円
保健師手当	保健師	月額 1,500円	
生活保護従事手当	生活保護事務従事員	保護	月額 3,500円

工 時間外勤務手当

支給実績(19年度)	19,467千円
支給職員1人当たり平均支給年額(19年度)	95千円
支給実績(20年度)	16,961千円
支給職員1人当たり平均支給年額(20年度)	89千円
支給実績(21年度)	21,087千円
支給職員1人当たり平均支給年額(21年度)	111千円

オ その他の手当(平成22年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度 との異同	国の制度と 異なる内容	支給実績 (21年度)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (21年度)
	①配偶者 13,000円				
	②配偶者以外 6,500円				
扶養手当	③配偶者がない場合 11,000円	同		37,077千円	261,108円
	・満16歳の年度始めから満22歳の年度末 までの子 1人につき5,000円加算				
住居手当	借家(家賃12,000円以上)	同		12,880千円	192,243円
住	家賃の額に応じて最高27,000円まで	ļΗJ		12,000 円	192,243円
	2km以上3km未満は2,750円				
通勤手当	以下1km増すごとに750円加算	異	距離の区分が異なる	9,345千円	41,907円
	15km以上最高支給額12,500円				
管理職手当	課長 22,600円, 指定課長 23,700円	異	支給率が異なる	5,140千円	256,983円
休日勤務手当	勤務1時間当たりの給与額に100分の135を乗 じた額	同		391千円	65,091円

3 特別職の報酬等の状況(平成22年4月1日現在)

区	分	給料月額等					
	市長	480,000円 (800,000円)					
給 料	副市長	(634,000円)					
71	教育長	(587,000円)					
t.ee	議長	333,900円(371,0	00円)				
報 酬	副議長	261,000円 (290,0	00円)				
1-4/1	議員	236,700円 (263,0	00円)				
		(21年度支給割	合)				
11- 0	市長	6月期 1.60月	分				
期	副市長	12月期 1.45月	分				
末	教育長	計 3.05月分					
手		(21年度支給割	合)				
当	議長	6月期 1.60月	分				
	副議長	12月期 1.45月	分				
	議員	計 3.05月分					
\H		(算定方式)	(支給時期)				
退 職	市長	給料×在職月数×0.4	1期ごとに支給				
手当	副市長	市長 給料×在職月数×0.3 同					
	教育長	給料×在職月数×0.3	同上				

- (注)1 市長の給料は、平成21年8月1日から40%減額して支給しています。
 - 2 議長等の報酬は、平成21年5月1日から10%減額して支給しています。
 - 3 ()内の額が条例に規定されている額です。
 - 4 期末手当については支給実績です。(6月期に改正ができなかったため、 12月期で調整しています)

4 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況(平成22年4月1日現在)

区 分	状況
勤務時間	月~金曜日 午前8時30分~午後5時15分
休憩時間	上記勤務時間内に45分
勤務を要しない日	国民の祝日,土曜日,日曜日,12月29日~1月3日
年次休暇	1年につき20日付与。現年度付与分のみ翌年度に繰り越し可。 平成21年の平均取得日数は、一人当たり9.7日でした。
その他の休暇等	病気休暇, 特別休暇, 育児休業等

5 職員の分限及び懲戒処分

(1) 分限処分者数(平成21年度) (1)							
処分の種類 処分の具体的事由	免 職	降 任	休職	降給	合 計		
勤務実績が良くない場合	0	0	0	0	0		
心身の故障の場合	0	0	0	0	0		
職に必要な適格性を欠く場合	0	0	0	0	0		
職制,定数の改廃,予算の減少により廃職, 過員を生じた場合	0	0	0	0	0		
刑事事件に関し起訴された場合	0	0	0	0	0		
条例で定める事由による場合	0	0	0	0	0		
会 計	0	0	0	0	0		

(2) 懲戒処分者数(平成21年度)							(単位	<u>は:件)</u>			
処分の種類 処分の具体的事由			職	停	職	減	給	戒	告	合	計
信用失墜行為			0		0		0		0		0
一般服務違反関係	その他		0		0		0		0		0
道路交通法違反	職務遂行中		0		0		0		0		0
道路交通伝達及 その他			0		0		0		0		0
合 計			0		0		0		0		0

6 職員の服務の状況

地方公務員法第30条の規定により、職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、職務遂行に当たっては全力を挙げてこれに専念しなければならないとされています。

この服務の根本基準を実行するために、職員には地方公務員法の規定により次のような職務上の義務があります。

- ・法令および上司の職務上の命令に従う義務
- ・信用失墜行為の禁止
- ・秘密を守る義務
- ・職務に専念する義務
- •政治的行為等の制限
- 争議行為等の禁止
- ・営利企業等の従事制限

7 職員の研修および勤務成績の評定の状況

(1) 研修実績(平成21年度)

(1) 的形关膜(1)发生于及/						
	句	↑ 修 名	修了·受講人員			
セ自	一般職員研修 		21人			
ン治タ研	医 华训修	管理監督者研修	18人			
修	専門研修		21人			
そ	派遣研修		派遣研修		25人	
の 他 独	人権同和問	題研修	123人			
自研	法制執務研修(中級)		31人			
修	その他		101人			

平成17年3月に策定した「阿久根市人材育成基本方針」では『現状を見直し、自己と地域社会の未来を豊かに創造できる「未来創造型職員を目指せ」』をテーマに、自己啓発、職場研修、職場外研修の3つを研修の大きな柱と位置付け人材育成を推進してきています。

21年度に行った研修の主なものは表のとおりです。

なお、勤務成績の評定については、平成18年度から「人事評価制度」を実施しています。

鹿児島県市町村振興協会自治研修センターで行われる基本研修に、新 規採用職員や採用後3~5年、7~9年、12年以上の職員および係長以上の 職員を参加させています。

専門研修では、自己啓発等のための法制研修や人事考課・勤務評定者 研修、新地方公会計制度研修に参加しています。

市独自の研修として、人権同和問題研修や法制執務研修(中級)を実施しました。

また,市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)等に職員を派遣し,市町村税徴収事務や法令実務等の講座に参加しています。

8 職員の福祉および利益の保護の状況

(1) 職員の健康診断の状況(平成21年度)

1 / 1/// 1	#	
区	分	受診者数
定期健康診	断	168人
	2日ドック	29人
人間ドック	1日ドック	15人
	脳ドック	10人
	節目ドック	3人
結核検診		168人
VDT検診		149人

(2) 阿久根市職員互助会の代表的な給付金等の状況(平成22年4月1日現在)

	区 分	給付額等	うち, 公費 負 担 分	会員の会費等 による負担分
人間ドック費	2日ドック	15,000円	0円	15,000円
用助成	1日ドック	11,000円	0円	11,000円
711797170	脳ドック	11,000円	0円	11,000円
	会員	50,000円	0円	50,000円
死亡弔慰金	配偶者	30,000円	0円	30,000円
	父母,子並びに同居家族	10,000円	0円	10,000円
疾病見舞金	15日以上の病休者	10,000円	0円	10,000円
大州元神亚	重度の障害の場合	20,000円	0円	20,000円
結婚祝金		30,000円	0円	30,000円
出産祝金	一人につき(子)	10,000円	0円	10,000円

(3) 公務災害補償制度(平成21年度)

加入団体	災害件数	災害の概要
地方公務員災害補償基金 鹿児島県支部	1件	保育活動中に おけるケガ

9 勤務条件に関する措置の要求等の状況

(平成21年度)

勤務条件に関する措置の要求	0件
不利益処分に関する申立ての状況	4件

(うち, 3件は処分取消し判定, 1件が審査中)